

報道関係各位

佐渡汽船運輸株式会社

佐渡汽船株式会社

株式会社みちのりホールディングス

9 月 14 日（月）佐渡市市営バス「相川地区循環バス」運行開始

～相川地区の通院・買い物の足として、佐渡金山などの観光の足として～

佐渡市市営バス 相川地区循環バス

佐渡汽船運輸株式会社（本社：新潟県佐渡市、代表取締役社長：荒川 滋、以下「佐渡汽船運輸」）は、佐渡市から運行業務を受託し、2026 年 9 月 14 日（月）から佐渡市市営バス「相川地区循環バス」の運行を開始します。佐渡汽船株式会社（本社：新潟県佐渡市、代表取締役社長：尾渡 英生、以下「佐渡汽船」）および株式会社みちのりホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役グループ CEO：吉田 元、以下「みちのり HD」）も、それぞれの役割で本取組に携わります。

相川地区循環バスは、佐渡市がこれまで別々に運行してきた「相川診療所バス」と「相川周遊バス」を 1 つの路線に統合するとともに、相川～佐渡金山間を運行する既存路線バスの延伸便との重複を整理・効率化を図るものです。地域住民と観光客の双方が利用でき、相川診療所や商店街、佐渡金山、きらりうむ佐渡、周辺の宿泊施設などを結び、土曜・日曜・祝日を含め毎日運行することで、相川地区内の移動の利便性が向上します。また、相川バス停で既存の路線バス本線と接続するため、相川地区循環バスと路線バスを乗り継ぐことで、相川地区内と両津港方面の移動の選択肢が増えます。今後、佐渡市では、相川地区循環バスの利用状況等を踏まえ、相川～佐渡金山間で運行している路線バス本線の延伸便についても、便数等の見直しを検討する方針です。

本事業は、佐渡市が公募した「島内公共交通運行・管理実証事業委託に関する公募型プロポーザル」において、佐渡汽船運輸を代表事業者、佐渡汽船およびみちのり HD を構成員とする提案が選定されたことを受けて実施するものです（選定結果公表：2026 年 4 月 27 日）。相川地区での運行を第一歩として、佐渡市は 2029 年度までに、佐渡島内の沿岸地域を運行する路線バスを市営コミュニティバスへ段階的に移行していく計画です。

相川地区循環バスの概要

路線名称	佐渡市市営バス 相川地区循環バス
運行開始日	2026 年 9 月 14 日（月）
運送種類	自家用有償旅客運送（道路運送法第 78 条第 2 号） ※事業者協力型交通空白地有償運送
運行主体	佐渡市
受託事業者	佐渡汽船運輸株式会社（運転業務、運行管理および車両整備管理を担当）
運行日	毎日運行（土曜・日曜・祝日も平日と同じダイヤ）
運行時間帯	午前 8 時 30 分（始発 相川バス停発）～午後 4 時 24 分（終便 相川バス停着） ※全 26 停留所の時刻表は佐渡市ホームページ・チラシをご覧ください。
便数	1 日 14 便（往路 7 便・復路 7 便）
運賃	1 乗車 100 円（中学生以下は無料） ※予約・登録は不要
お支払い方法	現金、キャッシュレス決済（クレジットカード・QR コード決済・交通系電子マネー）に対応
車両	ハイエースコンピューター2 台（乗客定員 12 人）
ご利用対象者	地域住民、観光客、帰省者など、どなたでもご利用いただけます

運行ルート



- 相川診療所のほか、路線バスが通らない天領通り（商店街）などを経由し、地域住民の通院・買い物に利用しやすいルートとしました。
- 佐渡金山、北沢浮遊選鉱場跡（相川博物館前）、きらりうむ佐渡、周辺の宿泊施設を經由し、観光客にもご利用いただけるルートとしました。
- 相川バス停で路線バス本線に乗り継ぐと両津港方面へ移動できます。ダイヤは路線バス本線や佐渡汽船航路との接続を考慮して設定しています。

時刻表・路線図などの詳細



(佐渡市ホームページ)

<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2016/84593.html>

リアルタイムの運行状況

(バスロケーションシステム)



スマートフォンやパソコンから、バスの運行状況をリアルタイムで確認できます。

<https://sado.busyohou.jp/>

出典：相川地区循環バス チラシ（佐渡市）

本取組のポイント

1 診療所や商店街を毎日結び、通院・買い物をしやすい地域の足を確保

相川地区は地区内にタクシー事業者がなく、高齢者を中心に、買い物や通院などの日常的な移動手段の確保が課題となっていました。佐渡市は、これまで運行してきた「相川診療所バス」と「相川周遊バス」を統合し、地域住民と観光客の双方が利用できる市営バスとすることで課題解決をはかります。

相川地区循環バスは、土曜・日曜・祝日を含む毎日、午前8時30分から午後4時24分まで1日14便（往路7便・復路7便）を運行します。相川診療所には9時台から15時台まで、往路・復路それぞれ毎時1便が停車するダイヤとし、診療所や商店街などを1つの路線で結ぶことで、通院や買い物に利用しやすくします。

例えば、上小川方面からは9時台の路線バスで相川診療所へ向かい、診察後は11時台の相川地区循環バスで戻るといった、既存路線バスと循環バスを組み合わせた利用もできます。

2 既存路線バスと組み合わせ、相川地区の観光の選択肢を拡大

相川地区循環バスは、相川バス停と佐渡金山を結び、北沢浮遊選鉱場跡（相川博物館前）、きらりうむ佐渡、周辺の宿泊施設などを経由します。相川バス停では両津港方面などを結ぶ路線バス本線と接続するため、両津港方面から相川地区へアクセスし、循環バスで地区内を周遊できます。

相川発は9時台から15時台まで循環バスが毎時1便運行するため、佐渡金山などの見学時間に合わせて便を選びやすくなります。例えば、佐渡金山の見学前後で北沢浮遊選鉱場跡やきらりうむ佐渡を訪問するなど、複数の観光施設を組み合わせ巡りやすくなります。

旅行前には時刻表をもとに予定を立て、当日はスマートフォンなどからバスロケーションシステムを利用し、運行状況をリアルタイムで確認することができます。

3 旅客輸送に必要な教育・管理体制を整え、トラックドライバーが安全・安心に運行

相川地区循環バスの運転業務は、佐渡汽船運輸が担います。乗務するのは、同社で貨物輸送等を担ってきたドライバーのなかから選任された、第二種運転免許を保有する者、または第一種運転免許を保有し、国土交通大臣認定の「交通空白地有償運送等運転者講習」を修了した運転者です。運行開始に向けては、みちのりグループがバス事業で培ってきた共通の教育プログラムに加え、実際の運行ルートで試走を繰り返し、安全運転や利用者案内などのバス乗務に必要な技能を習得しています。

運行にあたっては、同社が貨物運送事業・貸切バス事業で培ってきた体制を活用し、運行管理者による乗務前後の点呼、アルコール・健康状態・免許の確認、安全指導員による添乗指導、自社整備工場での車両点検・整備などを実施します。さらに、みちのりグループの運行管理・情報共有の仕組みを取り入れ、安全・安心な運行を確保します。

また、島内の既存人材を活かし、運転手不足の課題解決もはかります。

本取組における各社の役割・概要

佐渡汽船は航路との接続調整や航路利用者への周知を通じて航路と島内交通の連携を支援します。

みちのり HD は運行計画・効果検証を担い、みちのりグループはバス事業で培った教育・運行管理のノウハウを活かして、安全・安心なサービスの確保を支援します。

※佐渡汽船運輸は佐渡汽船の子会社であり、佐渡汽船および佐渡汽船運輸は、株式会社みちのりホールディングスを持株会社とするみちのりグループに属しています。

■ 佐渡汽船運輸株式会社

- ・所在地：新潟県佐渡市吾潟 183 番地 1
- ・設立：1939 年 7 月 12 日
- ・代表者：代表取締役社長 荒川 滋
- ・事業内容：貨物自動車運送事業、自動車特定整備事業、一般貸切旅客自動車運送事業
- ・サイト：<https://www.sadokisen-unyu.co.jp/>

■ 佐渡汽船株式会社

- ・所在地：新潟県佐渡市両津湊 353 番地
- ・設立：1932 年 4 月
- ・代表者：代表取締役社長 尾渡 英生
- ・事業内容：一般旅客定期航路事業、売店事業、旅行業 ほか
- ・サイト：<https://www.sadokisen.co.jp/>

■ 株式会社みちのりホールディングス

- ・所在地：東京都千代田区丸の内二丁目 5 番 1 号 丸の内二丁目ビル 6 階
- ・設立：2009 年 3 月
- ・代表者：代表取締役グループ CEO 吉田 元
- ・グループの事業内容：バス事業（乗合・高速・貸切）、鉄道事業、観光事業（旅行代理店・ホテル）、車両整備事業、不動産事業
- ・サイト：<https://www.michinori.co.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞		
佐渡汽船運輸株式会社	経営企画管理部 バス事業課 市橋	TEL：0259-27-2107
佐渡汽船株式会社	グループ企画業務部 第 1 課 丸山	TEL：025-245-2281
株式会社みちのりホールディングス	広報・マーケティング担当 工代（クダイ）	TEL：03-6250-1075